

幸学習館

12月10日

午前10時～午後3時

かわせみカフェ

東京学芸大学の学生が企画し、幸学習館運営協議会が運営する「かわせみカフェ」を、「世代間交流」を目的に開催します。平和をテーマに絵本の読み聞かせや、パネル展示を行います。工作コーナーではまっぼっくりツリーやポップアップカードを作ります。昔遊びコーナーではけん玉やコマで遊びます。お気軽にお立ち寄りください。直接会場へ。

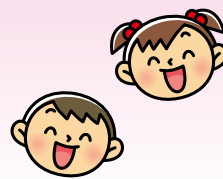
※新型コロナウイルスの感染状況に応じて、開催時間や内容が変更になることがあります。



昨年度の「かわせみカフェ」の様子

☎幸学習館 ☎(534) 3076

砂川子ども観劇会 人形劇「赤ずきんちゃん」



毎年恒例となった砂川子ども観劇会。今年是人形劇「赤ずきんちゃん」を公演します。お母さんに頼まれおつかいに行く、赤ずきんちゃんのかわいい冒険物語です。みなさん奮ってご参加ください。

出演：人形劇団オフィスやまいも 対3歳～小学校6年生(小学校3年生以下は保護者同伴) 時12月10日(土)午後2時～3時 場砂川学習館 定40人(申込順) 申11月11日(金)から砂川学習館 ☎(535) 5959へ

立川市学校給食共同調理場 公式Instagram始めました

市では、令和5年2学期からの新学校給食共同調理場の稼働により、全ての市立小・中学校に2つの共同調理場から温かくておいしい学校給食を届けることができますようになります。

学校給食共同調理場での毎日の給食の献立や特徴を写真などで紹介する公式Instagramを開設しました。ぜひご覧いただきフォローをお願いします！



オムライス



ハンバーグ



焼きそば



節分給食



☎学校給食課 ☎(529) 3511

中嶋家文書「多摩川流域村々絵図」は、源流から河口までの山々や道、用水路、堤防、水田や村名を描いた絵図です。絵図は彩色され、大きさは幅78cm、長さは27m以上もあります。この絵図は北が下、南が上で描かれ、川、用水路は水色、道は赤色、堤防は黒色、水田は黄色、荒地は灰色で書き込まれています。太

立川市と日野市の境を流れる多摩川は、山梨県甲州市笠取山の中腹を源流とし、東京都大田区羽田で東京湾に注いでいる、全長約138kmの一級河川です。立川市域では江戸時代以降、羽村堰で取水している玉川上水の分水(砂川分水、柴崎分水など)や九ヶ村用水(昭和用水・立川用水)を通じて、水の恵みを受けてきました。



多摩川流域村々絵図(歴史民俗資料館所蔵)の一部(立川市周辺)

立川市の歴史と文化財

49

多摩川流域村々絵図

い赤線は甲州街道で、多摩川を渡るところは日野の渡しで、現在の立川橋の東側付近になります。立川側(下)の堤防は断続的になっているのが読み取れます。これは霞堤と呼ばれる、洪水の時には、計画的に氾濫させて、下流を守る治水対策を取っていたことがわかります。

中嶋家は鈴木家とともに江戸時代柴崎村の年番名主を務めていました。この絵図は明治4(1871)年ごろに多摩川の治水を目的につくられたと考えられます。中嶋家当主の次郎兵衛は、葦山県(柴崎村は当時葦山県所屬)の堤防締役であり、そのため中嶋家に遺っていたと考えられます。立川市とは直接のかかわりはありませんが、中嶋家には多摩川の支流である秋川の絵図も遺されています。同じような多摩川の絵図は、世田谷区の大場代官屋敷保存会文書や国立市の西野家文書などでも確認されています。当時河川を管轄していた民部省らによって絵図が作られ、その写しが多摩川流域の村々に遺されていたと考えられます。

市史編さん室が刊行している『新編立川市史資料編 地図・絵図』には多摩川だけではなく、秋川の流域絵図も掲載されています。

現在歴史民俗資料館で開催中の企画展「多摩川と立川」利水と災害(12月11日(日)まで。毎週月曜日休館)において、源流から河口部まで展示します(立川市周辺のみ実物他はパネル展示)。ご興味のある方はぜひご来館ください。

☎歴史民俗資料館(生涯学習推進センター)文化財係 ☎(525) 0860